



2021年
6月21日(月)
18:30-20:00
(開場 18:00)

2021年度「芸術文化論」特別公演

義太夫節をひもとく はじめの女流義太夫

登録制・無料
オンライン開催

キーワードは、浄瑠璃です。義太夫節です。太夫の語りと三味線の織りなす芸能。今回の目的は、この芸能の幅広い文化的影響を知ることにあります。江戸時代の人形劇（人形浄瑠璃）で演奏される義太夫節ですが、それにとどまらず、さまざまな形で日本文化に大きな影響を与えました。なにしろ台本がそのまま読まれたり、歌舞伎や読み物の原作になったり、みんなが知るキャラクターも名文句もたくさんです。そんな裾野の広さを、明治時代に大人気となつた女性が演奏する義太夫節から学びます。

女流義太夫の実力派が聴かせる、名曲「新版歌祭文」野崎村の段。許されぬ恋に落ちたお染と久松。そして久松の許嫁お光の純心の行方はいかに！



女流義太夫太夫
たけもとこしこう
竹本越孝

女流義太夫三味線
つるざわかんや
鶴澤寛也

オンラインイベントの参加申し込みはWEBサイトへ
<http://user.keio.ac.jp/~sakura/jogi/>



演目「新版歌祭文」野崎村の段

義太夫節・太夫 竹本越孝

義太夫節・三味線 鶴澤寛也・ツレ 鶴澤賀寿

解説 原田真澄(早稲田大学坪内博士記念演劇博物館 助教)

写真：福田知弘

主催 慶應義塾大学教養研究センター日吉行事企画委員会 (HAPP)
企画 津田真弓(経済学部教授)
協力 慶應義塾大学アート・センター
問合せ先 kuzushiji.keio@gmail.com